

# 令和8年度まちづくり懇話会

日時：令和8年4月24日（金）14：00～

場所：江差町保健センター（江差町役場内）

令和8年5月7日時点

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容
1	A	歩行者等と車との兼ね合いで、少し事故等が気になる。道路向かいの土地なども使えれば安全ではないか。	安全面については協議を重ねてきており、バス・乗用車のインとアウトにフェンスを作成したり、歩く方と道路で区分するよう配慮している。道路向かいの土地は港湾になるため、今後、可能かどうかも含めて協議していく。【設計：山田総合設計】
2	A	物販テント設置などのイベントスペースについて、現状の図面からどの辺りを予定しているのか。	オープンスペースやマリナー広場で行うことが出来る、キッチンカーが配置できるようにしている。実際に使用する際に、イベント運営者と協議しながら、人が入りやすい仕組みを協議していく。【設計：山田総合設計】
3	B	飲食エリアでメニューもいろいろあると説明したが、価格設定はどう考えているのか。	観光客メインとして配置しますが、町民の方々も食べやすい価格のものも準備したいと考えている。【運営：アイビック食品】
4	B	江差の観光は秋までがシーズンで通年観光ではない。観光客対象の価格ではなく、町民も来やすい価格設定が望ましい。検討いただきたい。	検討します。【運営：アイビック食品】
5	C	開陽丸に来てもお土産がないという話を聞くため、地元業者を含め、何か出来ればと考えています。	独自の江差町にしかないお土産を作っていきたいと考えています。【運営：アイビック食品】
6	D	飲食ブースについて、観光バスなどの団体が昼食時間に来た場合、スペースを確保できるのか。	フードコートは120席あり、移動可能なテーブルを予定している。さらに体験交流室も活用できるよう検討している。【運営：アイビック食品】
7	E	事業として、どういったことを強く働きかけているのか。冬でも集客できる狙い。その上で収益を上げられる心構えだと思うので、もう少し具体的にお聞かせ願いたい。	旅行代理店へのアプローチ、小中学校へのプロモーション、お土産品・ふるさと納税などいろいろなことを想定し収益を上げていく。道の駅だけでなく、町全体が集客装置になれるようなことをしていきたい。【運営：アイビック】
8	E	江差観光みらい機構との関係性はどのように考えているのか。	連携してやっていきたい。道の駅の中に入っただきながら、一緒に考えていきたい。【運営：アイビック】
9	F	13年間は駅長として務めますとあったが、運営に関してはずっと任せる考えなのか。	事業についてはトータル15年間ということで提案をいただいております、運営については13年間アイビックを中心とする事業者グループで管理運営をしていただくことになる。【江差町】
10	F	その後のことはどうなるのか。	先の話になるため、現時点でお答えできませんが、継続等の話も含めて、相談することになる。【江差町】
11	G	要望が多い、こう聞いていますという話があったが、具体的にどのような調査方法で、意見を集約したのか。	アイビックグループの約50人くらいが、休みや出張を利用して江差町へ来た際に、聞き取り調査を行っている。札幌圏でのアンケート調査からの結果もある。【運営：アイビック食品】

# 令和8年度まちづくり懇話会

日時：令和8年4月24日（金）14：00～

場所：江差町保健センター（江差町役場内）

令和8年5月7日時点

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容
12	G	海鮮丼やジェラート・パンというのは近隣の道の駅でも提供しているが、それらを選んだ理由と近隣町との差別化の考えがあれば、お聞かせ願いたい。	パンについては、アイビックグループでは全国の多くの道の駅と取り組みを行っている中で、絶対に外せないものとして、パンがある。 海鮮丼については、聞き取り調査の結果、港町江差というイメージが多いが、現地では海鮮丼が食べられませんという回答をいただいた。しかし、ベニズワイガニやサーモン、四季折々の魚が漁獲されていると聞くので、江差ならではの海鮮丼が出来ると考えている。 ジェラートは、ソフトクリームだと1本のラインからバニラ、チョコと味が限られてしまうこともあり、ジェラートだと色々なフレーバーを並べられる。北広島市でやっている実績から考えたもの。 共通して、江差ならではの食材を利用し、近隣との差別化を考えている。【運営：アイビック食品】